

高密度・高強度可塑材

TAC 技術情報
I-015002

高密度かつ高強度を発現

●概 要

高密度・高強度可塑材は、硬化材と塑強調整剤を増量することで高い密度と短時間に高い強度が得られます。

高密度・高強度可塑材 1.1m³ 当り配合例

配合ケース	A 液(1.0m ³)				B 液
	硬化材	助材	安定剤	水	塑強調整剤
	タックメント	TAC- α	TAC-Re	清水	TAC-3G
① C375 配合	375 kg	30 kg	3.8 kg	866L	100L
② C500 配合	500 kg	30 kg	5.0 kg	826L	100L
③ C750 配合	750 kg	30 kg	7.5 kg	744L	100L
④C1000 配合	1000 kg	30 kg	10 kg	663L	100L

●お客様のメリット

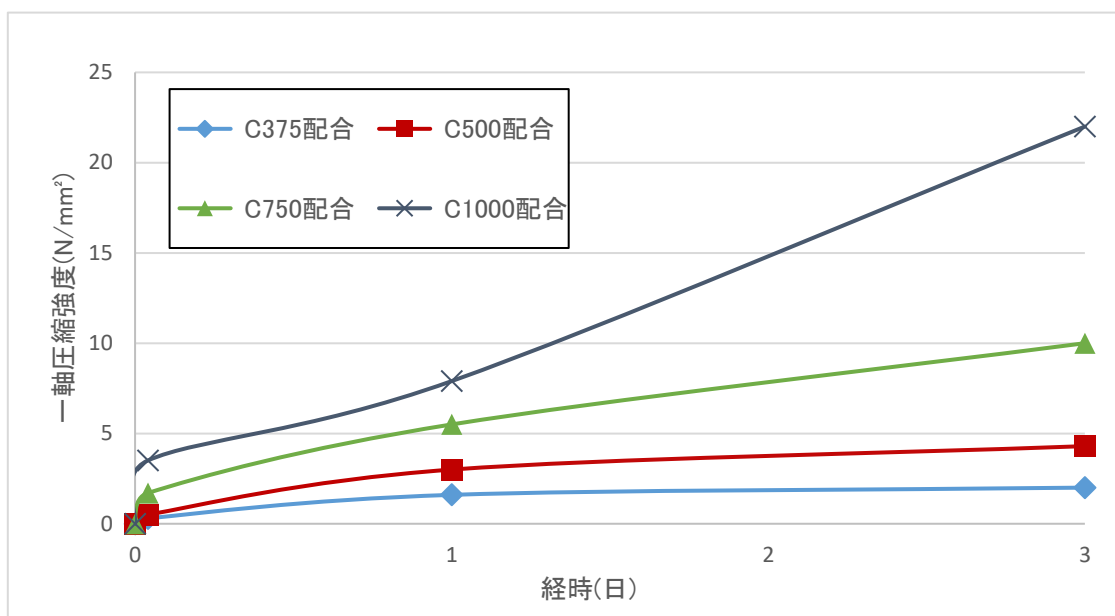
- 短時間で高い強度を得られるため、早期に強度発現を求められる埋戻し材や先行地中梁、山留壁盛替梁として活用できます。
- 施工条件に応じた可塑材の必要強度は、硬化材と塑強調整剤の量を調整することで確保でき、様々な配合の選択肢を有しています。

●特 徴

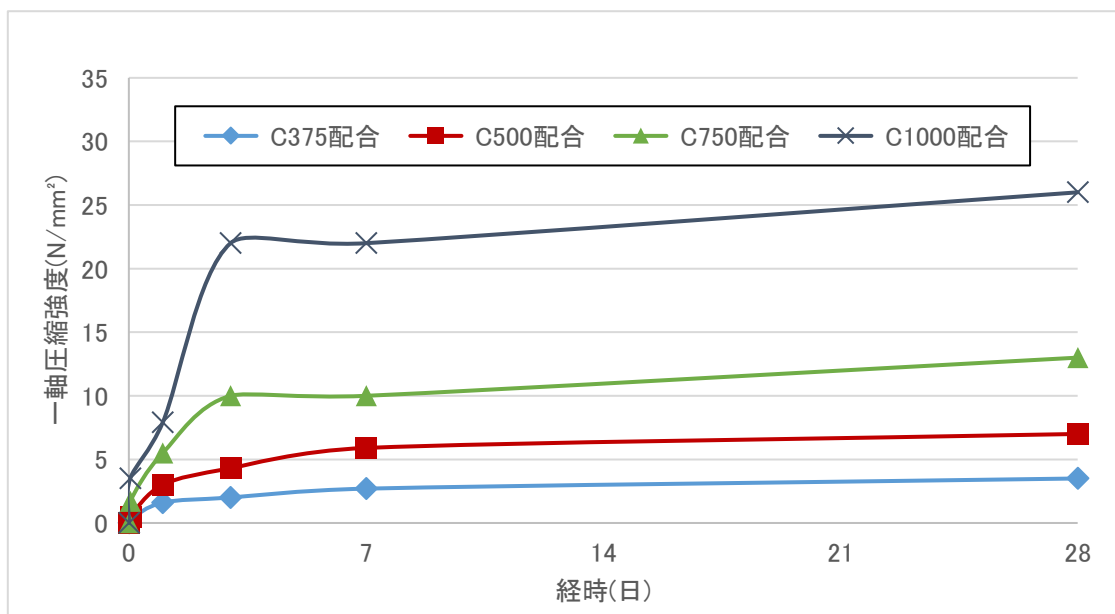
- 1) 比重が 1.3～1.7 と大きく、1 時間で一軸圧縮強度が 0.3～3.5N/mm²と短時間で高い強度を発現します。

各配合の性状比較

試験項目		① C375 配合	② C500 配合	③ C750 配合	④C1000 配合
A 液比重	規格値	1.28±0.10	1.36±0.10	1.53±0.10	1.70±0.10
	測定値	480×480	430×430	350×350	300×300
A 液フロー値 (mm)	規格値	250～500mm			
	測定値	10.0	7.1	6.9	4.2
ゲルタイム (sec)	規格値	15 秒以内			
	測定値	10.0	7.1	6.9	4.2
一軸圧縮強度 (N/mm ²)	1 時間後	0.3	0.5	1.7	3.5
	1 日後	1.6	3.0	5.5	7.9
	3 日後	2.0	4.3	10	22
	7 日後	2.7	5.9	10	22
	28 日後	3.5	7.0	13	26



各配合の強度発現グラフ(3日まで)



各配合の強度発現グラフ(28日まで)

●主な施工実績

施工着手年	発注者	工事名	施工者	施工場所	工種	採用目的
2014	阪神高速道路(株)	阪神高速 大和川線シールド工事	鹿島・飛島 建設工事共同企業体	大阪府	開削工事	山留壁盛替梁